

まちなかの店舗で働く方への情報誌

まちみせ。NAVI

2022 春号

Vol.3 (2022/03)



本年度、徹明さくら小学校が見学した店舗。①靴屋(劇場通南)、②服屋(柳ヶ瀬本通)、③和菓子屋(日ノ出町)、④お香・お数珠・仏具屋(レンガ通り)、⑤化粧品屋(柳ヶ瀬本通)、⑥珈琲豆屋(楽天地)。

小学校での発表会の様子。コロナ禍のため、児童のみの参加となった。商店主の似顔絵による人形劇でお店の特徴を説明したり、壁新聞にしたり、お店の特徴をクイズにして発表した。(⑦⑧⑨⑩)

TV-PREVIEW

「子どもたちから 始まるまちづくり」

～ 生放送 ぎふナビ! まちづくりナビ ～

2010年度より、商店街の皆さまのご協力で実施している「柳ヶ瀬商店街探検隊」。市内の小学校3年生を対象に「おみせのヒミツ」「まちのヒミツ」を楽しみながら勉強してもらうための社会見学プログラムです。

柳ヶ瀬、神田町、金町、美殿町の商店や企業など、これまで約70店舗・施設のご協力を頂き、のべ約290校・約2万人の児童が参加しました。

まちづくりナビ:

ぎふチャンのテレビ番組「生放送 ぎふナビ!」の中で、中心市街地のイベントやまちづくりに関する話題を、毎月1回ペースで紹介するコーナーです。

どの小学校の児童たちも、楽しかったようで、目をキラキラさせていましたが、体験したことや学んだことを、どう教室に持ち帰り、友だちや親に伝えているか…。小学校によって様々ですが、新聞や寸劇、紙芝居にしたり、クイズにして発表しているようです。また、休日に、両親にまちを

案内している様子も見られました。

今回は、校区に柳ヶ瀬を含む徹明さくら小学校を訪問し、報告会の様子を取材しました。また、スタジオに、同校の中村美雪校長を迎え、子どもたちの反応や、特に「まちなかに立地する小学校」として、子どもたちに期待すること、などを伺いました。

生放送 ぎふナビ! まちづくりナビ「子どもたちから始まるまちづくり」(3月11日(金)放送分)より。令和3年度のアーカイブ(録画データ)は、Web版「まちみせ.NAVI」(巻末参照)から視聴ができます。新年度も、新番組「めっちゃ ぎふ わかるてれび」にて、中心市街地の話題をお届けする予定です。

「第3回リノベーションスクール@岐阜」が開催されました。

2022年2月25日(金)～2月27日(日) 会場:ロイヤル劇場ビル ほか



「第3回リノベーションスクール@岐阜」と、「リノベーションスクール@ぎふ伊奈波」が同時開催されました。

リノベーションスクールは、使われていない店舗・空きビルなどの空間、地域にある歴史文化などのまちの資源を使って、まちの活性化や課題解決につながる実践形式のセミナーで、全国各地で開催されています。

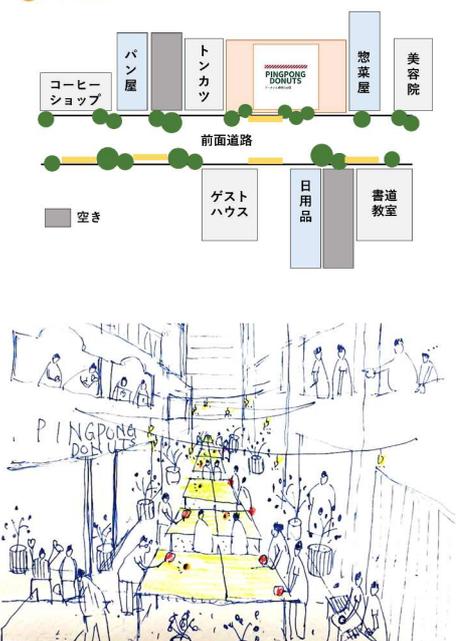
受講生たちは、与えられた課題に対して「当事者としてどう関わるか」という視点を持って投資額や回収期間も含めた事業計画を、3日間かけて作成。最終日に不動産オーナーほかにもプレゼンテーションを行いました。

ユニットA (不動産活用コース)

課題は、柳ヶ瀬・レンガ通りにある物件の利活用。本チームは、オーナーや周辺の聞き取り調査などを通じて、ドーナツと卓球のお店「PINGPONG DONUTS」を提案。

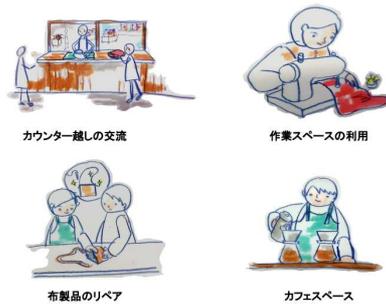
「ドーナツ」と「卓球」を核に、店舗や住人、お客さんをつなぐ「コミュニティスペース」と、周辺の通りの緑化を提案しました。

3年後

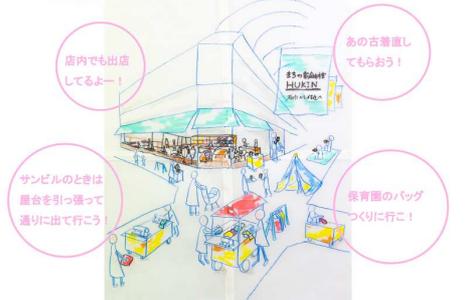


ユニットB (不動産活用コース)

課題は、柳ヶ瀬本通にある物件の利活用。本チームは、まちの家庭科室「HUKIN」～布で付近を変えていく～と題し、オーナーの事業との連携を前提に、布販売だけでなく、ミシンなどを設置し、「縫民＝ハンドメイド愛好家」をターゲットに、体験・交流が出来るスペースを提案しました。



HUKINが生む風景



ユニットC (コンテンツ開発コース)

コミュニティの希薄化、アイデンティティの危機という問題意識のなか、古き良き時代の劇場の価値を再定義し、柳ヶ瀬にワクワクする仕組み「まち全体を劇場に」を提案。

「何かやりたい人」と、舞台となる柳ヶ瀬の「場所(空き店舗・空き空間)」などを仲介する仕組みを提案しました。



公開プレゼンの様子は、こちら。(リノベリング)

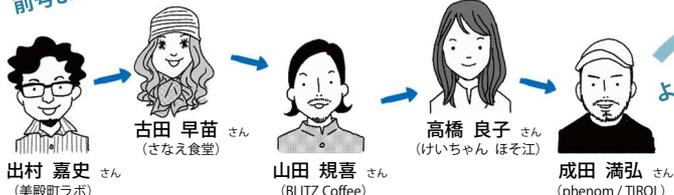


受講生に密着したドキュメントは、こちら。(生放送 ぎふナビ!)



今回のスクールで提案された事業計画は、スクール後も、修了生や関係者が実現に向けて、ブラッシュアップや試行を行っていく予定です。
(提案された事業計画は、決定事項ではありません)

前号より



よく、食べに行きます

つじもと なおき
辻本 直樹 さん

012

イタリア屋台バール mano 店長

シチリア島の屋台文化のような
食べ歩きが出来る場所に



ご近所さん
です



イタリア産生ハムを使った「サンド」や「パスタ」、「スープ」、「エスプレッソ」、「グラスワイン」など、テイクアウト可能なイタリア料理の屋台です。イタリア・シチリア島をはじめ、ヨーロッパやアメリカで働いたことがあり、カフェ文化を日本でも広めたいと考えています。2021年12月に、奥さんの実家がある岐阜でお店をはじめました。

岐阜市美殿町46 開屋 MITONOMACHI 内
電話 090-8672-0005 <https://www.instagram.com/mano.gifu/>

ひびの ようこ
日比野 陽子 さん

014

ぱたーた 岐阜店 オーナー

じゃがいもドーナツを持って、
まちや公園にでかけましょう!



ご近所さん
です



国産小麦と産地にこだわったじゃがいもを使ったドーナツのお店「ぱたーた」。「パタータ」とはイタリア語で「じゃがいも」という意味です。先代の「ぱたーた」は一旦閉店しましたが、子どもたちから「何度も食べたくなるドーナツ!」と言われると嬉しいと、2015年、お店を引き継ぎました。毎日愛情をたっぷり込めて手作りにしています。

岐阜市美殿町46 開屋 MITONOMACHI 内 電話 090-7689-4114
<https://www.instagram.com/patataa.gifu/> patata.gifu@gmail.com

このコーナーでは、商店街のお店で働く人、
企業で働く人、会社を起こした人、まちづくりを
している人、イベントを企画している人など、
リレー形式でご紹介していきます!!



※社長や店長、商店街役員である必要はありません。
バトンが届いたら、是非ご協力を!

次号へ続く

ごとう あきら
後藤 慧 さん

011

冷麺のお店 hachi. 店長

本場盛岡から直接仕入れている
強いコシがある麺が自慢です。



2017年、岐阜県で唯一の「冷麺専門店」としてオープン。牛すじベースの自家製出汁で、盛岡から仕入れている太麺・細麺をお楽しみ頂けます。「盛岡冷麺」のほか、甘辛肉味噌の「ジャージャー麺」や「宮崎辛麺」、「温麺」もお楽しみいただけます。コロナで厳しい時代ですが、みんなで頑張りましょう。テイクアウトも承ります。

岐阜市美殿町45 電話 070-7781-9532
<https://www.instagram.com/reimen.hachi/>

みずの ひろまさ
水野 弘真 さん

013

居酒屋 ENISHI オーナー

関西の日本料理店で修行後、
生まれ育った岐阜で出店。



ご近所さん
です



毎日市場で仕入れる鮮魚を使った「お造り」や、こだわりと愛情を込めた「出し巻き玉子」は自慢の逸品。白子・牡蠣・あん肝など、贅沢なものを寄せ集めた「通風鍋」もお勧めです。ここ美殿町でお店を開いて十数年。若者の出店を中心に、だんだん街が元気になってきました。みんなの力でコロナを乗り越えましょう。

岐阜市美殿町18 電話 058-214-3335
<https://www.instagram.com/enishigifu/>

ひびの ひろたか
日比野 尋孝 さん

015

ひらきや
開屋 オーナー

まちのオープンスペース
この街で交流が生まれると嬉しい



入居スペース
のオーナー

若者などの飲食店が気軽に出店できる場所があれば、まちが元
気になると考え、元々経営していた八百屋を「フードコート」に改装し



ました。「まちのたまり場」となった店内には、様々な人が集っているようです。自身も、一番奥のスペースに出店。大根などの煮物や、佃煮、ポテトサラダなどのお惣菜や、野菜などを販売しています。

岐阜市美殿町46 開屋 MITONOMACHI 内
電話 058-262-0394

新型コロナウイルス感染症、その他の事情により、中止や変更の可能性もあります。

市商連信長楽市(フラッグフェス)

まちに、にぎわいを生むことを目的に、「ほこみち制度」※を活用したイベント等の企画を実行委員会で行っています。2月のイベントは、中止となりましたが、令和4年度に改めて、イベントを検討しています。詳細が決まり次第お知らせします。(市商連)

※ほこみち制度：歩行者利便増進道路指定制度。道路占有許可基準を柔軟にして、通りのにぎわい創出などを行う制度。

ジュラシックアーケード

新型コロナのため、2年続けて中止となった「ジュラシックアーケード」について、例えば、子どもたちによる「恐竜作品コンテストの展示」など、コロナ禍のなかで、分散して来街して頂くための開催方法を検討中です。具体的な企画が出来ましたら、改めてお知らせいたします。(柳商連)

(仮)柳ヶ瀬夏の映画祭

映画「逆光」※の上映イベントとタイアップし、映画関係者によるトークショーや、古き良き時代の雰囲気を出し出す店舗との連携、屋台出店などを検討中です。(柳商連)

※1970年代の真夏の尾道を舞台にした大学生の切ない青春を描いた作品。主演/初監督・須藤蓮、脚本・渡辺あや、音楽・大友良英。

EVENTS

サンデービルディングマーケットの開催について

2014年9月にスタートした「サンデービルディングマーケット(通称:サンビル)」は、まちを元気にする「手づくり」と「こだわり」の詰まったライフスタイルマーケットで、これまで毎月1回、第3日曜日に開催してきました。4月より、派生のマーケットを含めて、毎月3回の開催を予定しています。



■サンデービルディングマーケット (第1土曜日・第3日曜日)

4月から「**第1土曜サンビル**」を開催します。場所は、日ノ出町通り・銀天通り(ロイヤル劇場ビル横)・旧長崎屋前広場を予定。初回は4月2日(土)、道三まつりに合わせて開催します。

「**第3日曜サンビル**」は、これまでと同様の規模で、場所は柳ヶ瀬一帯で開催します。

■GIFU ANTIQUE ARCADE (第2土曜日)

これまで、弥生町・小柳町で開催していた「サンビル蚤の市」をリニューアルして開催します。古道具やアンティークを通じて、ご縁が広がるマーケットを目指します。

場所は、日ノ出町通り・銀天通り(ロイヤル劇場ビル横)・旧長崎屋前広場。初回は4月9日(土)に開催します。

お問い合わせ先

サンデービルディングマーケット実行委員会
(柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社)

< 定期的に開催されるイベント >

- 柳ぶら楽市 (毎月第1・3土曜日/柳商連) **開催中**
- 柳ヶ瀬とれたて市場 (毎月第2・4土曜日/柳ヶ瀬本通会) **開催中**
- サンデービルディングマーケット (実行委員会) **開催中**
 - 第1土曜サンビル (毎月/第1土曜日)
 - GIFU ANTIQUE ARCADE (毎月/第2土曜日)
 - 第3日曜サンビル (毎月/第3日曜日)

< 岐阜まつり協賛 道三まつり > (中心市街地で開催される主なイベント)

- 4月2日(土)
 - サンデービルディングマーケット (柳ヶ瀬商店街)
 - 岐阜まつり協賛 みこしパレード (長良橋通り)
- 4月3日(日)
 - 春のせんい祭り (JR岐阜駅前 織維問屋街一帯)
 - カンボジア教育支援バザー及びパネル展 (柳ヶ瀬「花画」店先)
 - 春の玉宮まつり (玉宮通り商店街)
 - 岐阜コスプレパレード (柳ヶ瀬商店街～若宮町通り)
- 4月2日(土)・3日(日) 両日
 - 道三駅前楽市 (JR岐阜駅 北口駅前広場 社の架け橋 信長ゆめ広場)
 - 信長楽市 (神田町通り、円徳寺)
 - 柳ぶら楽市スペシャル (柳ヶ瀬本通り、岐阜高島屋前わくわく広場)
 - 鯉こい祭り (劇場通南商店街)
 - 開局20年みんなのラジオ FM わっち 輝け信長像とともに ～2022春の陣～ (JR岐阜駅 北口駅前広場)
 - 第32回 美殿町春祭 (美殿町通り歩行者天国一帯)
 - 春のご自愛メニューフェア (アクティブG)
 - 春のHAPPYフェア (岐阜シティ・タワー43)

※3月24日時点。感染症の状況等により変更となる場合があります。

まちなかの店舗で働く方への情報誌「**まち。みせ。NAVI**」

Vol.3 2022春号 2022年3月

※次号は、2022年6月末頃に発行を予定しています。

(Web 版情報誌はこちら)
<https://sites.google.com/view/machi-mise-navi/>



協力：岐阜市商店街振興組合連合会
岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会
神室町南柳ヶ瀬商店街振興組合
劇場通南商店街振興組合
美殿町商店街振興組合

発行：岐阜市

編集・お問い合わせ先：

リノベーションまちづくり推進拠点「やながせRテラス」
(運営：一般財団法人岐阜市にぎわいまち公社)

岐阜市日ノ出町 1-20 ロイヤル劇場ビル 2F

TEL:058-201-4010 E-mail: yanagase@gifu-nigiwai.org

開館時間 10:00～17:00 定休日 毎週木曜日・年末年始